

◎研究ノート

Where did this mirror exit from?

N.NAMOTO

この鏡はどこから出たのか？

名本 二六雄

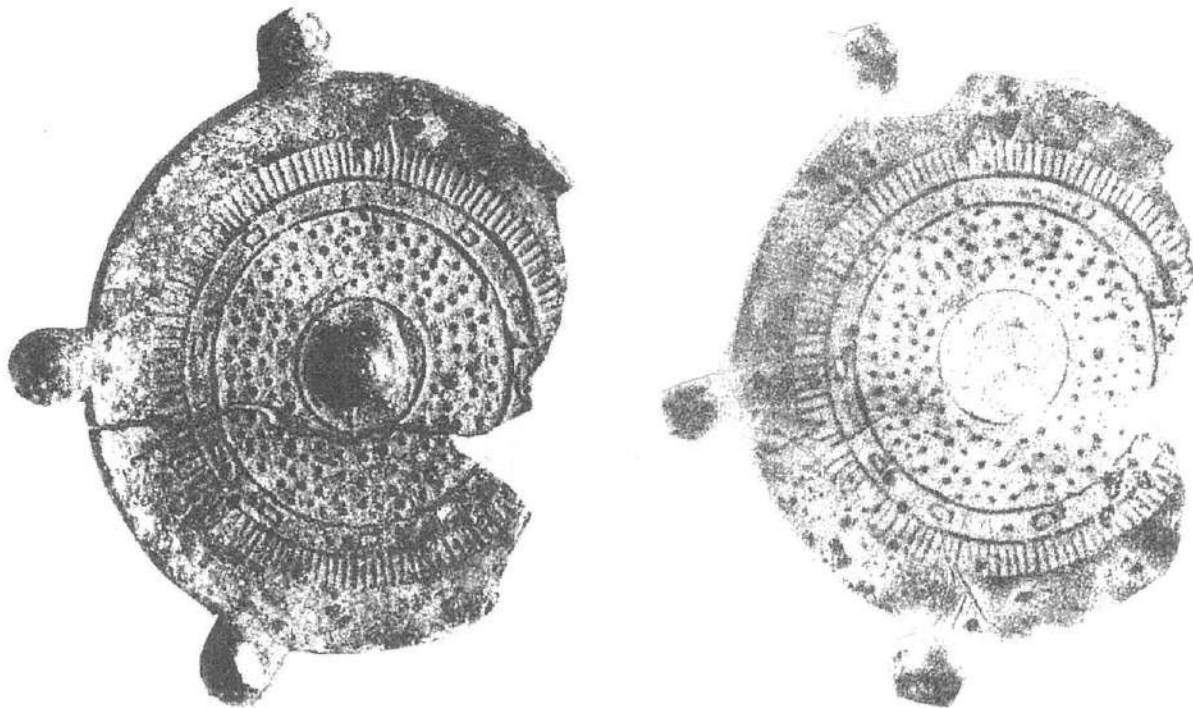
愛媛大学の付属小学校の校庭から、大量の古代遺物（弥生後期末の土器・石器（石包丁・石鏃等））が発見された。昭和27年（1952）4月の「愛媛新聞」の記事に詳しい。

日本史の上代の枠組には、土器や石器は欠かせない資料であったから、第2次大戦後のマスコミもこの記事は「大切なもの」として扱ったようだ。何分、その発掘は学内の付属小学生が行ったから、猶更面白い記事となった。

片や、大戦後は、歴史、特に「郷土史」は大変盛んとなり、松山市近辺では、松本常太郎氏が、地方紙ではあるが、郷土双書「にきた津」という単行本を出版して令名が高かった。

校庭の発掘でかなりの知識を身につけた私達は、古三津に住まわれていた松本氏宅を訪れ、先生の話は何度も聞くとともに、氏が採集された資料を丹念に見せて頂くという幸運に恵まれた。

古三津のお宅にお邪魔して、「にきた津」の話を何うとともに、集められていた遺物類を見せて頂くのは大層愉快なことであったが、先生の話の中には青銅器、特に鏡のことも大事な資料として見るべきだとのお話もあった。ただ、この近辺から「出た」鏡もあるはずと言われたが、現品は手許にはなく、知人に貸しているとのことで、残念に思ったことも忘れられないでいる。



五鈴鏡 面径 8.4cm

会所だより

1 1 月例会のご案内

下記のように 11 月例会を開催します。よろしくご参集下さい。
日時 2024 年 11 月 10 日（日）午前 10 時から 12 時 30 分
場所 愛媛県砥部町 そがめ塾（tel 089-905-2925）

1、例会（10：00～12：30）

（1）会所

- ① 12 月巡検について
- ② 来年度古墳測量について
- ③ 来年度例会日程について

（2）下記のように会員から発表があります。

- ① 名本二六雄「この鏡はどこから出たのか？」 ニュースター 193 号をお持ち下さい
 - ② 清水真一「笠置峠の「地藏道標」について」 ニュースター 193 号をお持ち下さい
 - ③ 十亀幸雄「松山市平田町金毘羅山遺跡出土遺物の再検討」
- その他の方の発表は交渉中。当日の発表、歓迎します。プロジェクター・PCが使用できます。

2024 年の遺跡発行会例会予定日

- ① 11 月例会 11 月 10 日（日）10：00～ 会場：そがめ塾
- ② 12 月例会 12 月 29 日（日）10：00～ 会場：そがめ塾（例会後に巡検・忘年会予定）



第 193 号 目次	この鏡はどこから出たのか？	名本二六雄	1
	笠置峠の「地藏道標」について	清水真一	3
	伊予に搬入された初期の尾道石造物—西林寺寛政銘手水鉢—	十亀幸雄	8
	愛媛東中南博物館インフォ 11 月	会所	2
	会所だより	会所	12

No.193 CONTENTS	Where did this mirror exit from?	N.NAMOTO	1
	About the Jizo Bosatsu-shaped signpost of the Kasagi pass	SHIMIZU	3
	The early Onomichi masonry carred in to Iyo	Y.SOGAME	8